

石川区長の高級マンション購入疑惑 議会で真相究明へ

新聞各社によると区長は一般には販売されていない事業協力者用住居を優先的に入手できるよう業者に取り計らってもらった可能性があるとして、地方自治法100条が規定する強い権限を付与した委員会で調査を行う事となりました。私も委員の一人として厳しく調査してまいります。

百条委員会とは

自治体の事務に関して疑惑や不祥事があった際、事実関係を調査するため、地方自治法100条に基づいて地方議会が設置する特別委員会。関係者の出頭や証言、記録提出を求めることができるなど強い調査権限を持つ。虚偽の証言をした場合は5年以下の禁錮刑、正当な理由がないのに証言を拒否した場合は6ヶ月以下の禁錮刑や10万円以下の罰金を科すことができる。(朝日新聞デジタルより)

幻の聖火リレーとならない為にも2021年に向けて!

私たちは皆様と共に築いてきた麹町大通りの熱い思いを絶やすことなく前へ進んで参ります。

『東京2020オリンピック聖火リレー』7月21日 麹町大通りを走ることに決定!

令和元年12月17日東京都は都内62市区町村を15日間かけて走る聖火リレーのコースを発表しました。その中で令和2年7月21日(火)は半蔵門から四ツ谷駅までの麹町大通り(1.4km)を7つの区間に分けて走ることになりました。私たち麹町

地区環境整備協議会は2018年6月より実現に向けて署名活動を行ない、誘致への取り組みを行なって参りましたが、皆様のご協力により実現の運びとなりました。心から感謝を申し上げます。



令和元年12月19日
麹町地区
環境整備協議会
会長 櫻井 正

2018.12.21
オリンピック組織委員会へ



桜井ただしの プロフィール



昭和28年8月7日生まれ 66歳 しし座
麹町幼稚園、麹町小学校、麹町中学校を卒業
立教大学経済学部卒業(昭和51年)
立教大学体育会陸上競技部OB
(株)明治屋入社 営業畠一筋に23年
平成11年 千代田区議会議員初当選(現在6期目)
東京都後期高齢者広域連合議会(初代、第11代議長)
第63代 千代田区議会議長

【議会関係現職】

千代田区監査委員
企画総務委員会委員
景観・まちづくり特別委員会委員
災害時要配慮者対策特別委員会委員
千代田区議会だより編集委員長

【地域の関係現職】

麹町地区環境整備協議会会长
麹町小学校同窓会会长
麹町商店会副会長
麹町消防少年団団長

桜井ただしの区政レポート

令和元年第4回定例会／令和2年第1回定例会

編集/発行 桜井ただし事務所 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 桜井ビル2階
<区政のご相談は> TEL:03-3261-7301 FAX:03-3261-0580 sakurai@arion.ocn.ne.jp



いつも一生懸命!
都心「千代田から新しい風」を

桜井ただし

www.tadashi-sakurai.com

ご挨拶

皆様こんにちは桜井ただしさです。

新型コロナウイルスによる感染が一気に全世界に蔓延し、今までに経験したことの無い事態が起きています。政府は4月16日、新型コロナウイルスの感染予防に向けた『緊急事態宣言』を全国に拡大し東京都も外出の自粛要請、施設やイベントの中止、学校の休校など様々な対応を行っています。

私たち議会は区民の皆様の安全安心を第一に考え、尊い命、貴重な財産を守る為にもスピード感をもって様々な対策を考え、国、東京都、千代田区に求めて参ります。

桜井ただしが取り組む8つのライフワーク

1 高齢者

いつまでも安心して暮らせる幸せ社会の実現

3 障がい者

毎日が生きがいの持てる障がい者施策の拡充と
自立支援に向けた取り組み

5 健康づくり

0才からお年寄りまで生き生きと健やかな
区民の健康づくりを支援

7 防 災

災害に強いまちづくりと
安全安心社会に向けた様々な取り組み

2 子ども

子育て世代への幅広い支援と青少年の健全育成

4 商店会・中小企業

景気回復と中小企業の振興、商店会の活性化

6 街づくりと地域コミュニケーション

地域の賑わいと交流が生まれるまちづくり
バランスのとれた良好な景観づくりの推進

8 相続税・固定資産税の減税運動

いつまでも千代田区に住み、働くことのできる為に

第4回定例会 一般質問

一般
質問

水害対策について

今年は台風15号、19号、そしてその後の大雪によって甚大な被害となりました。被害を受けられた多くの方々に對しある見舞いと一日も早い復旧、復興がかなうようお祈りをいたしたいと思います。初めに本区の水害対策を語る上において大変興味深い2つの情報を紹介します。1つはNHKの調査で、2つ目は江戸川区さんのハザードマップです。NHKの調査は、住宅に被害が出た人、避難



所で生活している人などを対象に「台風の接近前に被害を受けると考えていたのか」との質問に対し、83.7%の人が「イメージしていなかった」と答え、また自治体がつくったハザードマップについては「確認していなかった」が40.3%に達し、「参考にしなかった」も28.3%にのぼるなど、7割の方が災害の危険性を自分のことと捉えず、早目の準備や避難につなげていなかったことが明らかになりました。また、避難をしたきっかけは「周辺状況の悪化」が25.1%と最も多く、テレビやラジオと公共機関から発表される情報に关心を寄せていましたこともわかりました。次にこれは江戸川区さんがつくっているハザードマップで災害をステップ1からステップ4まで、4部門に分けて、とてもわかりやすく説明をいたしております。江戸川区ってどんなところなのか、水害が起こったらどうなるのか、命を守るために事前に知っておくことなどが書かれています。江戸川区さんと千代田区では立地の状況も被害の想定も異なりますが、区民への訴え方には非常に参考になるものがあります。そこで質問をいたします。



【質問】水害は事前の準備によって減災に繋げることができます。区は区民に災害予測を丁寧に説明し何をすべきか、災害の危険性を「自分のこと」と捉え早めの準備や避難につなげていくことが大切。ビル化が進む中、正確で迅速、誰にも分かり易い情報は大きな安心に繋がります。区は戸別受信機を高齢者や障害者の方々から配布されてはどうか。千代田区役所を始め水害によって防災物資が使えなくなる場所が多い。区として早急な対策が必要と思うがどうか。

答弁 行政管理担当部長

避難所運営協議会や町会長会議、マンション連絡会などの場を通じ、災害予測について丁寧に説明し有事に備えて何をすべきか、区民の理解を深めるよう努めています。防災情報は広く、正確に全ての区民の方々へお伝えすることができるよう、戸別受信機の配付も含め様々な手法を検討します。議員ご指摘の通り備蓄倉庫は本庁舎を含め可能な施設から調整を進め対応して参ります。

一般
質問 今後の小学校の整備について

都心部への人口回帰により、本区の人口は6万5,000人を超える、子どもの数も増えておりまます。千代田区においては平成5年小学校の統廃合によって当時14校あった小学校が8校に集約され、1学年2クラス編制で全学年12クラスが基準となりました。それが現在の生徒数を見てみると、8校中5校が12クラス以上であり、今後の推移には大きな関心を持たざるを得ません。中でも麹町小学校は現在18クラスで図書室や会議室などを教室に変えての対応で本来の目的を失い、学校の運営上からも異常な状態が続いている。そこでお尋ねします。麹町小学校を初めてとして12クラス以上となった学校に対して、区は今後どのように対応していくか。

各小学校のクラス数と生徒数(令和元年)

小学校	クラス数	生徒数
麹町小学校	18	528
番町小学校	12	405
九段小学校	14	450
富士見小学校	15	443
昌平小学校	10	255
和泉小学校	12	321
千代田小学校	11	272
お茶ノ水小学校	11	264

【質問】今後の区全体の児童数の推移と生徒数の増加に伴う学校整備についてどのように考えるか。特に18クラスとなった麹町小学校に於いては抜本的な解決方法しかない。区の具体的な考えを求める。

答弁 教育担当部長

麹町、九段、富士見小学校に続き和泉橋地区に於いても児童の増加が顕著です。学校施設の整備は地域特性や制約条件を考慮し、創意工夫をしながら学校施設の整備を進めています。麹町小学校については手段を限定することなく全般的に協力を求めながら早急に検討を進め対応して参ります。

第1回定例会予算特別委員会 令和2年2月～3月

予算特別委員会において、二番町高齢者施設について質問し、その概要が明らかになりました。

(仮称)二番町高齢者施設の開設と支援について

平成28年度に区が整備・運営事業者として選定した、社会福祉法人が二番町の国有地を国と定期借地権契約を締結し令和3年4月の開設に向け、特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、ショートステイについて整備を進めています。開設に向け、いくつか質問をいたします。

桜井／区内の特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームの入所希望申し込み状況についてお答えください。

高齢介護課長／特別養護老人ホームに入所希望の方は2月時点で130名。認知症高齢者グループホームの待機者は7月の時点で、25名程度と把握しております。

桜井／二番町高齢者施設を開設した後、特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームの入所希望者は当然、現在より減ると思いますか？

高齢介護課長／特別養護老人ホームには要介護4以上の大半の方が入所できる見込みで、入所の待機状況は大きく改善できるものと考えております。また、認知症高齢者グループホームについても多くの方が入所できるのではと推測しております。

桜井／入所待機者について一定程度の解決が見込めるることはわかりましたが、その後の区の課題はどのように把握しているのかお答えください。

高齢介護課長／高齢者人口が増えることに加え高齢化も更に進むことで認知症高齢者の増加、慢性疾患等による医療ニーズへの対応が大きな課題となります。

桜井／今後の課題が認知症や医療ニーズへの対応のことですが、二番町高齢者施設の開設で何か変わっていくでしょうか。

高齢介護課長／二番町高齢者施設を整備・運営する社会福祉法人平成会は、老人保健施設を運営している医療法人社団龍岡会の中の法人で柔軟な対応を期待しております。

概要 (仮称)二番町特別養護老人ホーム

- 開設:令和3年4月予定
- 申込:令和2年5月 受付開始予定
- 1階/地域交流スペース
2階/認知症グループホーム
3階/ショートステイ(定員12名)
4~7階/特別養護老人ホームユニット型(定員108名)
8階/ルーフトップテラス

※ユニット型とは一つの共同生活室(リビング・キッチン)を12室の個室が(一人部屋)が囲む構成です。

